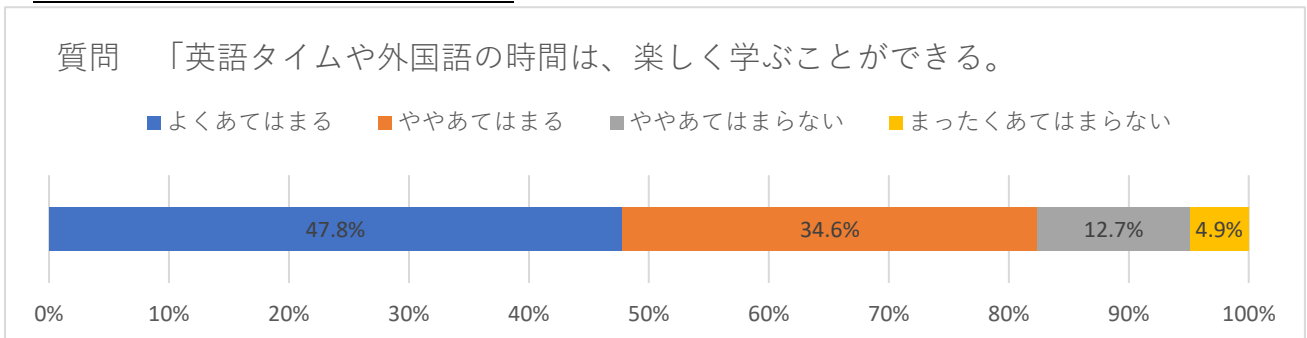


令和4年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和4年度4年生から6年生の児童にアンケートを行ったところ、「英語タイムや外国語の時間は、楽しく学ぶことができる。」という質問に対し、「よくあてはまる」と回答した児童は48%、「ややあてはまる」と回答した児童は35%だった。二つの回答を合わせると82%だった。

【資料1】児童のアンケート結果

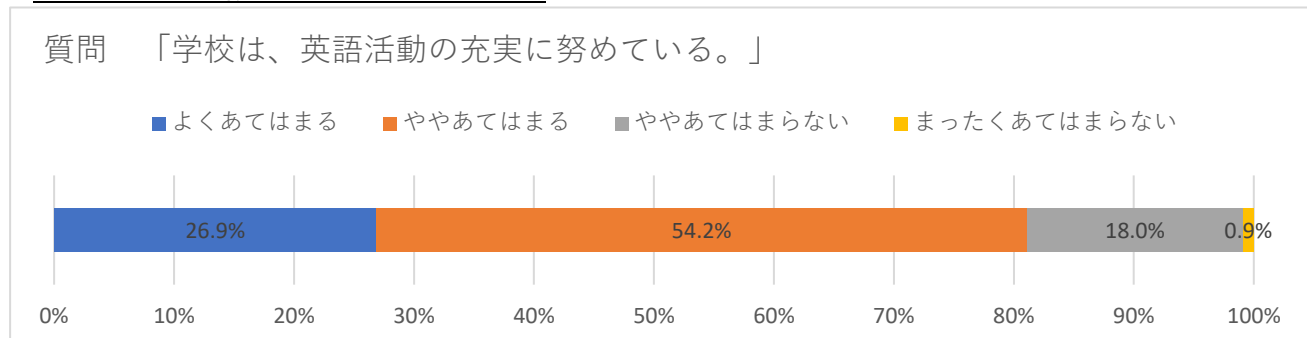


これらのことから、本校の多くの児童は英語タイムや外国語の時間を通して、楽しく学ぶことができていると考えられる。

2 学校関係者評価結果

令和4年度に行った保護者向けのアンケートでは、「学校は、英語活動の充実に努めている。」という質問に対し、「よくあてはまる」と回答した保護者は27%、「ややあてはまる」と回答した保護者は54%だった。二つの回答を合わせると81%だった。

【資料2】保護者のアンケート結果



このことから、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の回答をした保護者の割合は、児童の回答の割合とほぼ同じであるが、「よくあてはまる」と回答した割合は児童と保護者で大きな差がある。

3 まとめ

日々の英語活動や外国語の授業を通して、多くの児童はALT（外国語指導助手）やST（小学校英語指導補助員）のネイティブな英語に触れ、楽しく学ぶことができている。しかしアンケート結果から、児童が英語を学ぶ楽しさが保護者に伝わっていない現状がある。今後は授業参観などを通して、児童が英語を楽しく学ぶ様子を保護者に実際に見ていただく必要がある。